

## 災害廃棄物の処理に関する測定結果（平成24年8月分）

### 1. 宮城県松島町の災害廃棄物の放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	放射性セシウム 134 (検出下限値 <sup>※1</sup> )	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
7月26日(木)	不検出 <sup>※2</sup> (<20)	不検出(<20)	不検出	200

※1 検出下限値とは、検査機器で測定できる最小値のこと。※2 不検出とは、測定値が検出下限値未満であることを示す。

### 2. 酒田地区広域行政組合ごみ処理施設における測定結果

#### (1) 排ガス中の放射性物質濃度（単位：Bq/m<sup>3</sup>）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
8月20日(月)	1号炉ろ紙部 <sup>※1</sup>	不検出(<0.12)	不検出(<0.11)	不検出	$\begin{aligned} & (\text{セシウム 134 濃度 (Bq/m}^3) \div 20 \text{ (Bq/m}^3)) \\ & + (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/m}^3) \div 30 \text{ (Bq/m}^3)) \leq 1 \end{aligned}$
	1号炉トレン部 <sup>※2</sup>	不検出(<0.47)	不検出(<0.41)	不検出	
	2号炉ろ紙部	不検出(<0.10)	不検出(<0.092)	不検出	
	2号炉トレン部	不検出(<0.33)	不検出(<0.48)	不検出	

※1 排ガスを吸引し、ろ紙で捕集した放射性セシウム濃度を測定。※2 ろ紙で捕集しきれなかった排ガス中の放射性セシウム濃度を測定。

#### (2) 飛灰、処理灰、不燃物、熔融スラグの放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
8月7日(火)	飛灰 <sup>※1</sup>	15(<11)	20(<13)	35	—
	処理灰 <sup>※2</sup>	不検出(<14)	15(<14)	15	4,000 以下
	不燃物	不検出(<12)	不検出(<9.0)	不検出	
	熔融スラグ <sup>※3</sup>	不検出(<12)	不検出(<12)	不検出	100 <sup>※4</sup> 以下

※1 飛灰とは、排ガスに含まれているダスト（ばいじん）。※2 処理灰とは、飛灰をキレート処理し混錬成形した灰。これを最終処分場に埋め立てする。※3 熔融スラグとは、約1300～1400℃の熔融炉で灰分を熔融したもの。土木・建築資材として再生利用される。※4 熔融スラグを使用した再生利用品での基準値。

(3) 再利用水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
8月7日(火)	再利用水 <sup>※1</sup>	不検出(<0.75)	不検出(<0.93)	不検出	$(\text{セシウム 134 濃度 (Bq/L)} \div 60 (\text{Bq/L}))$ + $(\text{セシウム 137 濃度 (Bq/L)} \div 90 (\text{Bq/L})) \leq 1$

※1 再利用水とは、施設で発生する生活排水、スラグ冷却水、床洗浄水などの排水を高度処理し再利用する水。

(4) 運搬車両の空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv/時}$ )

月日	車両	松島町搬出時 空間放射線量率	ごみ処理施設搬入時 空間放射線量率	基準値
8月1日(水)	1台目	0.07~0.08	0.06	0.19以下
	2台目	0.08~0.09	0.05~0.07	
8月2日(木)	1台目	0.07	0.06~0.07	
8月3日(金)	1台目	0.07~0.08	0.06	
8月7日(火)	1台目	0.07~0.08	0.06	
	2台目	0.08	0.06	
8月9日(木)	1台目	0.06~0.08	0.06	
8月10日(金)	1台目	0.07~0.08	0.06	
8月20日(月)	1台目	0.07~0.08	0.05~0.06	
8月21日(火)	1台目	0.07~0.08	0.06	
8月22日(水)	1台目	0.07~0.08	0.06	
8月23日(木)	1台目	0.07	0.05~0.06	
8月24日(金)	1台目	0.07~0.08	0.06	
8月27日(月)	1台目	0.08	0.06	
8月28日(火)	1台目	0.08~0.09	0.05~0.06	
8月29日(水)	1台目	0.08	0.06	
8月30日(木)	1台目	0.07~0.08	0.07	
	2台目	0.07~0.08	0.05	

※松島町搬出時の測定器は、HORIBA 簡易型環境放射線モニタ PA-1000。(松島町測定)

ごみ処理施設搬入時の測定器は、日立アロカメディカル シンチレーションサーベイメータ TCS-172B。(酒田地区広域行政組合測定)

(5) 空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点	8月1日(水)	8月9日(木)	8月16日(木)	8月23日(木)	8月30日(木)	基準値
A(敷地境界)	0.06	0.07	0.07	0.06	0.06	0.19以下
B(敷地境界)	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	
C(敷地境界)	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	
D(敷地境界)	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	
E(バックグラウンド <sup>※1</sup> )	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	

※1 バックグラウンドとは、自然放射線量を示し、敷地内で災害廃棄物の影響を受けない十分に離れた地点を測定点とする。なお、各測定地点は、別図1のとおり。

3. 酒田地区広域行政組合最終処分場における測定結果

(1) 地下水、放流水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム134 (検出下限値)	放射性セシウム137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
8月17日(金)	地下水 上流	不検出(<0.84)	不検出(<0.97)	不検出	$\begin{aligned} & (\text{セシウム134濃度 (Bq/L)} \div 60 \text{ (Bq/L)}) \\ & + (\text{セシウム137濃度 (Bq/L)} \div 90 \text{ (Bq/L)}) \leq 1 \end{aligned}$
	地下水 下流	不検出(<0.73)	不検出(<1.0)	不検出	
	放流水	不検出(<0.73)	不検出(<0.77)	不検出	

(2) 空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点	8月6日(月)	8月15日(水)	8月20日(月)	8月28日(火)	基準値
A(敷地境界)	0.06	0.06	0.05	0.05	0.19以下
B(敷地境界)	0.05	0.04	0.05	0.05	
C(敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	
D(敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	
E(バックグラウンド)	0.05	0.05	0.05	0.05	

※ 各測定地点は、別図2の通り。

#### 4. 施設周辺地域における測定結果

周辺地域における空間放射線量率（単位： $\mu\text{Sv}/\text{時}$ ）

測定地点	高さ	8月8日(水)	8月22日(水)	基準値
十五軒公園	50cm	0.06	0.06	0.19以下
	1m	0.06	0.06	
十五軒南公園	50cm	0.05	0.06	
	1m	0.05	0.05	
下中村自治会館	50cm	0.07	0.07	
	1m	0.06	0.06	
板戸農道	50cm	0.05	0.05	
	1m	0.05	0.05	
板戸公民館	50cm	0.06	0.06	
	1m	0.06	0.06	
大平公会堂	50cm	0.05	0.05	
	1m	0.05	0.04	

## 災害廃棄物の処理に関する測定結果（平成24年9月分）

### 1. 宮城県松島町の災害廃棄物の放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	放射性セシウム 134 (検出下限値 <sup>※1</sup> )	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
8月25日(土)	不検出 <sup>※2</sup> (<20)	不検出(<20)	不検出	200 以下
9月8日(土)	不検出(<20)	不検出(<20)	不検出	

※1 検出下限値とは、検査機器で測定できる最小値のこと。※2 不検出とは、測定値が検出下限値未満であることを示す。

### 2. 酒田地区広域行政組合ごみ処理施設における測定結果

#### (1) 排ガス中の放射性物質濃度（単位：Bq/m<sup>3</sup>）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
9月18日(火)	1号炉ろ紙部 <sup>※1</sup>	不検出(<0.10)	不検出(<0.11)	不検出	$(\text{セシウム 134 濃度 (Bq/m}^3) \div 20 (\text{Bq/m}^3))$ $+ (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/m}^3) \div 30 (\text{Bq/m}^3)) \leq 1$
	1号炉ドレン部 <sup>※2</sup>	不検出(<0.40)	不検出(<0.58)	不検出	
	2号炉ろ紙部	定期整備のため休止中			
	2号炉ドレン部				

※1 排ガスを吸引し、ろ紙で捕集した放射性セシウム濃度を測定。※2 ろ紙で捕集しきれなかった排ガス中の放射性セシウム濃度を測定。

#### (2) 飛灰、処理灰、不燃物、溶融スラグの放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
9月4日(火)	飛灰 <sup>※1</sup>	17(<12)	30(<14)	47	—
	処理灰 <sup>※2</sup>	12(<2.2)	22(<2.2)	34	4,000 以下
	不燃物	不検出(<10)	不検出(<13)	不検出	
	溶融スラグ <sup>※3</sup>	不検出(<6.5)	不検出(<6.3)	不検出	100 <sup>※4</sup> 以下

※1 飛灰とは、排ガスに含まれているダスト（ばいじん）。※2 処理灰とは、飛灰をキレート処理し混錬成形した灰。これを最終処分場に埋め立てする。※3 溶融スラグとは、約 1300～1400℃の溶融炉で灰分を溶融したもの。土木・建築資材として再生利用される。※4 溶融スラグを使用した再生利用品での基準値。

### (3) 再利用水の放射性物質濃度（単位：Bq/L）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
9月4日(火)	再利用水 <sup>※1</sup>	不検出(<0.69)	不検出(<0.65)	不検出	(セシウム 134 濃度(Bq/L) ÷ 60(Bq/L)) + (セシウム 137 濃度(Bq/L) ÷ 90(Bq/L)) ≤ 1

※1 再利用水とは、施設で発生する生活排水、スラグ冷却水、床洗浄水などの排水を高度処理し再利用する水。

### (4) 運搬車両の空間放射線量率（単位：μSv/時）

月日	車両	松島町搬出時 空間放射線量率	ごみ処理施設搬入時 空間放射線量率	基準値
9月3日(月)	1台目	0.06～0.08	0.06～0.07	0.19 以下
9月4日(火)	1台目	0.08	0.06	
	2台目	0.08	0.06	
9月5日(水)	1台目	0.07～0.08	0.06	
9月6日(木)	1台目	0.07	0.06	
9月7日(金)	1台目	0.06～0.07	0.06	
9月10日(月)	1台目	0.07	0.06	
9月11日(火)	1台目	0.08	0.06	
9月12日(水)	1台目	0.06～0.07	0.06	
9月13日(木)	1台目	0.07～0.08	0.06	
	2台目	0.07	0.06	
9月14日(金)	1台目	0.06～0.07	0.06	
9月18日(火)	1台目	0.07	0.06	
9月19日(水)	1台目	0.07	0.06	
9月20日(木)	1台目	0.06～0.07	0.06	
	2台目	0.07～0.08	0.06	
9月21日(金)	1台目	0.07	0.06	

9月24日(月)	1台目	0.07~0.08	0.06~0.07	
9月25日(火)	1台目	0.08~0.10	0.06	
	2台目	0.08	0.06	
9月26日(水)	1台目	0.06	0.06	
9月27日(木)	1台目	0.07~0.09	0.06	
9月28日(金)	1台目	0.06~0.07	0.06	
	2台目	0.07~0.08	0.06	

※松島町搬出時の測定器は、HORIBA 簡易型環境放射線モニタ PA-1000。(松島町測定)

ごみ処理施設搬入時の測定器は、日立アロカメディカル シンチレーションサーベイメータ TCS-172B。(酒田地区広域行政組合測定)

#### (5) 空間放射線量率 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	9月5日(水)	9月12日(水)	9月19日(水)	9月26日(水)	基準値
A (敷地境界)	0.06	0.06	0.06	0.06	0.19 以下
B (敷地境界)	0.05	0.06	0.06	0.06	
C (敷地境界)	0.06	0.06	0.05	0.05	
D (敷地境界)	0.05	0.05	0.06	0.05	
E (バックグラウンド※1)	0.05	0.05	0.05	0.05	

※1 バックグラウンドとは、自然放射線量を示し、敷地内で災害廃棄物の影響を受けない十分に離れた地点を測定点とする。なお、各測定地点は、別図1のとおり。

### 3. 酒田地区広域行政組合最終処分場における測定結果

#### (1) 地下水、放流水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
9月18日(火)	地下水 上流	不検出 (<0.71)	不検出 (<0.80)	不検出	$(\text{セシウム 134 濃度 (Bq/L)} \div 60 (\text{Bq/L}))$ $+ (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/L)} \div 90 (\text{Bq/L})) \leq 1$
	地下水 下流	不検出 (<0.76)	不検出 (<0.80)	不検出	
	放流水	不検出 (<0.80)	不検出 (<0.72)	不検出	

(2) 空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	9月3日(月)	9月10日(月)	9月18日(火)	9月24日(月)	基準値
A (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.19 以下
B (敷地境界)	0.05	0.04	0.05	0.05	
C (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	
D (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	
E (バックグラウンド)	0.05	0.05	0.05	0.05	

※ 各測定地点は、別図2の通り。

4. 施設周辺地域における測定結果

周辺地域における空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点	高さ	9月5日(水)	9月18日(火)	基準値
十五軒公園	50cm	0.06	0.06	0.19 以下
	1m	0.06	0.06	
十五軒南公園	50cm	0.05	0.05	
	1m	0.06	0.05	
下中村自治会館	50cm	0.06	0.06	
	1m	0.06	0.06	
板戸農道	50cm	0.04	0.05	
	1m	0.04	0.05	
板戸公民館	50cm	0.05	0.05	
	1m	0.06	0.05	
大平公会堂	50cm	0.04	0.05	
	1m	0.05	0.05	



## 災害廃棄物の処理に関する測定結果（平成24年10月分）

### 1. 宮城県松島町の災害廃棄物の放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	放射性セシウム 134 (検出下限値 <sup>※1</sup> )	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
10月11日(木)	22(<20)	24(<20)	46	200以下

※1 検出下限値とは、検査機器で測定できる最小値のこと。

### 2. 酒田地区広域行政組合ごみ処理施設における測定結果

#### (1) 排ガス中の放射性物質濃度（単位：Bq/m<sup>3</sup>）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
10月22日(月)	1号炉ろ紙部 <sup>※1</sup>	不検出 <sup>※3</sup> (<0.18)	不検出 (<0.14)	不検出	$(\text{セシウム 134 濃度 (Bq/m}^3) \div 20 (\text{Bq/m}^3))$ $+ (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/m}^3) \div 30 (\text{Bq/m}^3)) \leq 1$
	1号炉トレン部 <sup>※2</sup>	不検出 (<0.47)	不検出 (<0.43)	不検出	
	2号炉ろ紙部	不検出 (<0.18)	不検出 (<0.16)	不検出	
	2号炉トレン部	不検出 (<0.43)	不検出 (<0.43)	不検出	

※1 排ガスを吸引し、ろ紙で捕集した放射性セシウム濃度を測定。※2 ろ紙で捕集しきれなかった排ガス中の放射性セシウム濃度を測定。※3 不検出とは、測定値が検出下限値未満であることを示す。

#### (2) 飛灰、処理灰、不燃物、溶融スラグの放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
10月9日(火)	飛灰 <sup>※1</sup>	不検出 (<19)	22 (<16)	22	—
	処理灰 <sup>※2</sup>	不検出 (<14)	22 (<12)	22	4,000以下
	不燃物	不検出 (<9.4)	不検出 (<11)	不検出	
	溶融スラグ <sup>※3</sup>	不検出 (<6.0)	不検出 (<7.1)	不検出	100 <sup>※4</sup> 以下

※1 飛灰とは、排ガスに含まれているダスト（ばいじん）。※2 処理灰とは、飛灰をキレート処理し混錬成形した灰。これを最終処分場に埋め立て

する。※3 溶融スラグとは、約 1300～1400℃の溶融炉で灰分を溶融したもの。土木・建築資材として再生利用される。※4 溶融スラグを使用した再生利用品での基準値。

(3) 再利用水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
10月9日(火)	再利用水 <sup>※1</sup>	不検出(<0.88)	不検出(<0.76)	不検出	(セシウム 134 濃度(Bq/L) ÷ 60(Bq/L)) + (セシウム 137 濃度(Bq/L) ÷ 90(Bq/L)) ≤ 1

※1 再利用水とは、施設で発生する生活排水、スラグ冷却水、床洗浄水などの排水を高度処理し再利用する水。

(4) 運搬車両の空間放射線量率 (単位: μSv/時)

月日	車両	松島町搬出時 空間放射線量率	ごみ処理施設搬入時 空間放射線量率	基準値
10月1日(月)	1台目	0.07～0.08	0.06～0.07	0.19以下
10月2日(火)	1台目	0.07	0.06	
	2台目	0.06～0.07	0.06～0.07	
10月3日(水)	1台目	0.06	0.06	
10月4日(木)	1台目	0.07	0.06	
	2台目	0.07	0.06	
10月5日(金)	1台目	0.07～0.09	0.06	
10月9日(火)	1台目	0.07～0.08	0.06	
10月10日(水)	1台目	0.06	0.06	
10月11日(木)	1台目	0.07	0.06	
	2台目	0.07	0.06～0.07	
10月12日(金)	1台目	0.06	0.05～0.06	
10月15日(月)	1台目	0.07～0.09	0.06	
10月16日(火)	1台目	0.07～0.08	0.06	
	2台目	0.07～0.09	0.06	
10月17日(水)	1台目	0.06～0.08	0.07	
10月18日(木)	1台目	0.06～0.07	0.06	
10月19日(金)	1台目	0.07	0.06～0.07	

10月22日(月)	1台目	0.07	0.06~0.07
	1台目	0.07	0.06~0.07
10月23日(火)	1台目	0.07~0.09	0.06~0.07
10月24日(水)	1台目	0.07	0.06
10月25日(木)	1台目	0.07~0.08	0.06~0.07
10月26日(金)	1台目	0.07	0.06
10月29日(月)	1台目	0.07	0.06
10月30日(火)	1台目	0.07~0.08	0.06
10月31日(水)	1台目	0.07	0.06~0.07

※松島町搬出時の測定器は、HORIBA 簡易型環境放射線モニタ PA-1000。(松島町測定)

ごみ処理施設搬入時の測定器は、日立アロカメディカル シンチレーションサーベイメータ TCS-172B。(酒田地区広域行政組合測定)

#### (5) 空間放射線量率 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	10月3日(水)	10月10日(水)	10月17日(水)	10月25日(木)	10月30日(火)	基準値
A (敷地境界)	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06	0.19 以下
B (敷地境界)	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	
C (敷地境界)	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	
D (敷地境界)	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	
E (バックグラウンド <sup>※1</sup> )	0.05	0.05	0.06	0.05	0.05	

※1 バックグラウンドとは、自然放射線量を示し、敷地内で災害廃棄物の影響を受けない十分に離れた地点を測定点とする。なお、各測定地点は、別図1のとおり。

### 3. 酒田地区広域行政組合最終処分場における測定結果

#### (1) 地下水、放流水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
10月17日(水)	地下水 上流	不検出(<0.73)	不検出(<0.82)	不検出	$(\text{セシウム 134 濃度 (Bq/L)} \div 60 (\text{Bq/L}))$ $+ (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/L)} \div 90 (\text{Bq/L})) \leq 1$
	地下水 下流	不検出(<0.70)	不検出(<0.78)	不検出	
	放流水	不検出(<0.65)	不検出(<0.78)	不検出	

(2) 空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	10月1日(月)	10月9日(火)	10月15日(月)	10月22日(月)	10月29日(月)	基準値
A (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.19 以下
B (敷地境界)	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	
C (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	
D (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
E (バックグラウンド)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	

※ 各測定地点は、別図2の通り。

4. 施設周辺地域における測定結果

周辺地域における空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点	高さ	10月3日(水)	10月17日(水)	10月31日(水)	基準値
十五軒公園	50cm	0.06	0.07	0.06	0.19 以下
	1m	0.06	0.06	0.06	
十五軒南公園	50cm	0.05	0.06	0.06	
	1m	0.05	0.05	0.05	
下中村自治会館	50cm	0.06	0.06	0.06	
	1m	0.06	0.06	0.06	
板戸農道	50cm	0.04	0.05	0.05	
	1m	0.05	0.05	0.05	
板戸公民館	50cm	0.05	0.06	0.05	
	1m	0.05	0.05	0.06	
大平公会堂	50cm	0.05	0.05	0.05	
	1m	0.05	0.05	0.05	

## 災害廃棄物の処理に関する測定結果（平成24年11月分）

### 1. 宮城県松島町の災害廃棄物の放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	放射性セシウム 134 (検出下限値 <sup>※1</sup> )	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
11月5日(月)	不検出 <sup>※2</sup> (<20)	23(<20)	23	200以下

※1 検出下限値とは、検査機器で測定できる最小値のこと。※2 不検出とは、測定値が検出下限値未満であることを示す。

### 2. 酒田地区広域行政組合ごみ処理施設における測定結果

#### (1) 排ガス中の放射性物質濃度（単位：Bq/m<sup>3</sup>）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
11月19日(月)	1号炉ろ紙部 <sup>※1</sup>	休止中	休止中	休止中	$(\text{セシウム 134 濃度 (Bq/m}^3) \div 20 (\text{Bq/m}^3))$ $+ (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/m}^3) \div 30 (\text{Bq/m}^3)) \leq 1$
	1号炉トレン部 <sup>※2</sup>	休止中	休止中	休止中	
	2号炉ろ紙部	不検出 (<0.12)	不検出 (<0.099)	不検出	
	2号炉トレン部	不検出 (<0.29)	不検出 (<0.30)	不検出	

※1 排ガスを吸引し、ろ紙で捕集した放射性セシウム濃度を測定。※2 ろ紙で捕集しきれなかった排ガス中の放射性セシウム濃度を測定。

#### (2) 飛灰、処理灰、不燃物、熔融スラグの放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
11月6日(火)	飛灰 <sup>※1</sup>	不検出 (<17)	不検出 (<20)	不検出	—
	処理灰 <sup>※2</sup>	20 (<3.3)	38 (<3.3)	58	4,000以下
	不燃物	不検出 (<13)	不検出 (<12)	不検出	
	熔融スラグ <sup>※3</sup>	不検出 (<1.1)	1.4 (<1.3)	1.4	100 <sup>※4</sup> 以下

※1 飛灰とは、排ガスに含まれているダスト（ばいじん）。※2 処理灰とは、飛灰をキレート処理し混錬成形した灰。これを最終処分場に埋め立てする。※3 熔融スラグとは、約1300～1400℃の熔融炉で灰分を熔融したもの。土木・建築資材として再生利用される。※4 熔融スラグを使用した再生利用品での基準値。

(3) 再利用水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
11月6日(火)	再利用水 <sup>※1</sup>	不検出(<0.74)	不検出(<0.78)	不検出	(セシウム 134 濃度(Bq/L) ÷ 60(Bq/L)) + (セシウム 137 濃度(Bq/L) ÷ 90(Bq/L)) ≤ 1

※1 再利用水とは、施設で発生する生活排水、スラグ冷却水、床洗浄水などの排水を高度処理し再利用する水。

(4) 運搬車両の空間放射線量率 (単位:  $\mu$ Sv/時)

月日	車両	松島町搬出時 空間放射線量率	ごみ処理施設搬入時 空間放射線量率	基準値
11月1日(木)	1台目	0.07~0.09	0.06	0.19以下
11月2日(金)	1台目	0.07	0.06~0.07	
11月5日(月)	1台目	0.07~0.08	0.06	
11月6日(火)	1台目	0.07	0.06	
11月7日(水)	1台目	0.06	0.06	
11月8日(木)	1台目	0.07	0.06~0.07	
11月9日(金)	1台目	0.06~0.07	0.06	
11月12日(月)	1台目	0.07~0.08	0.06	
11月13日(火)	1台目	0.07	0.07	
11月14日(水)	1台目	0.07~0.08	0.06	
11月15日(木)	1台目	0.07	0.07	
11月16日(金)	1台目	0.07~0.08	0.07	
11月19日(月)	1台目	0.07~0.08	0.06	
11月20日(火)	1台目	0.06~0.07	0.06	
11月21日(水)	1台目	0.06	0.06~0.07	
11月22日(木)	1台目	0.07	0.06	
	2台目	0.06~0.07	0.06~0.07	
11月26日(月)	1台目	0.07	0.06~0.07	
11月27日(火)	1台目	0.06~0.07	0.06	
11月28日(水)	1台目	0.05~0.06	0.06	

11月29日(木)	1台目	0.07~0.08	0.06	
11月30日(金)	1台目	0.07~0.08	0.06	
	2台目	0.07	0.06	

※松島町搬出時の測定器は、HORIBA 簡易型環境放射線モニタ PA-1000。(松島町測定)

ごみ処理施設搬入時の測定器は、日立アロカメディカル シンチレーションサーベイメータ TCS-172B。(酒田地区広域行政組合測定)

#### (5) 空間放射線量率 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	11月6日(火)	11月12日(月)	11月20日(火)	11月27日(火)	基準値
A (敷地境界)	0.06	0.07	0.07	0.06	0.19 以下
B (敷地境界)	0.06	0.07	0.06	0.05	
C (敷地境界)	0.05	0.06	0.06	0.05	
D (敷地境界)	0.05	0.06	0.06	0.05	
E (バックグラウンド※1)	0.05	0.06	0.06	0.05	

※1 バックグラウンドとは、自然放射線量を示し、敷地内で災害廃棄物の影響を受けない十分に離れた地点を測定点とする。なお、各測定地点は、別図1のとおり。

### 3. 酒田地区広域行政組合最終処分場における測定結果

#### (1) 地下水、放流水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム134 (検出下限値)	放射性セシウム137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
11月28日(水)	地下水 上流	不検出(<0.74)	不検出(<0.79)	不検出	$(\text{セシウム134 濃度 (Bq/L)} \div 60 (\text{Bq/L}))$ $+ (\text{セシウム137 濃度 (Bq/L)} \div 90 (\text{Bq/L})) \leq 1$
	地下水 下流	不検出(<0.90)	不検出(<0.70)	不検出	
	放流水	不検出(<0.83)	不検出(<0.77)	不検出	

(2) 空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	11月5日(月)	11月16日(金)	11月19日(月)	11月26日(月)	基準値
A (敷地境界)	0.05	0.05	0.06	0.05	0.19 以下
B (敷地境界)	0.04	0.04	0.04	0.04	
C (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	
D (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	
E (バックグラウンド)	0.05	0.05	0.05	0.05	

※ 各測定地点は、別図2の通り。

4. 施設周辺地域における測定結果

周辺地域における空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点	高さ	11月15日(木)	11月28日(水)	基準値
十五軒公園	50cm	0.08	0.06	0.19 以下
	1m	0.08	0.06	
十五軒南公園	50cm	0.07	0.05	
	1m	0.07	0.05	
下中村自治会館	50cm	0.07	0.07	
	1m	0.08	0.07	
板戸農道	50cm	0.06	0.05	
	1m	0.05	0.05	
板戸公民館	50cm	0.06	0.05	
	1m	0.06	0.06	
大平公会堂	50cm	0.06	0.05	
	1m	0.05	0.04	



## 災害廃棄物の処理に関する測定結果（12月分）

### 1. 宮城県松島町の災害廃棄物の放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	放射性セシウム 134 (検出下限値 <sup>※1</sup> )	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
12月4日(火)	不検出 <sup>※2</sup> (<20)	23(<20)	23	200以下

※1 検出下限値とは、検査機器で測定できる最小値のこと。※2 不検出とは、測定値が検出下限値未満であることを示す。

### 2. 酒田地区広域行政組合ごみ処理施設における測定結果

#### (1) 排ガス中の放射性物質濃度（単位：Bq/m<sup>3</sup>）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
12月17日(月)	1号炉ろ紙部 <sup>※1</sup>	休止中			$(\text{セシウム 134 濃度 (Bq/m}^3) \div 20 (\text{Bq/m}^3))$ $+ (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/m}^3) \div 30 (\text{Bq/m}^3)) \leq 1$
	1号炉トレン部 <sup>※2</sup>				
	2号炉ろ紙部	不検出(<0.12)	不検出(<0.12)	不検出	
	2号炉トレン部	不検出(<0.62)	不検出(<0.61)	不検出	

※1 排ガスを吸引し、ろ紙で捕集した放射性セシウム濃度を測定。※2 ろ紙で捕集しきれなかった排ガス中の放射性セシウム濃度を測定。

#### (2) 飛灰、処理灰、不燃物、熔融スラグの放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射性セシウム 合計	基準値
12月4日(火)	飛灰 <sup>※1</sup>	不検出(<21)	33(<22)	33	—
	処理灰 <sup>※2</sup>	17(<12)	22(<14)	39	
	不燃物	不検出(<11)	不検出(<13)	不検出	4,000以下
	熔融スラグ <sup>※3</sup>	不検出(<11)	不検出(<9.8)	1.4	100 <sup>※4</sup> 以下

※1 飛灰とは、排ガスに含まれているダスト（ばいじん）。※2 処理灰とは、飛灰をキレート処理し混錬成形した灰。これを最終処分場に埋め立てする。※3 熔融スラグとは、約1300～1400℃の熔融炉で灰分を熔融したもの。土木・建築資材として再生利用される。※4 熔融スラグを使用した再生利用品での基準値。

(3) 再利用水の放射性物質濃度 (単位 : Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
12月4日(火)	再利用水 <sup>※1</sup>	不検出(<0.69)	不検出(<0.75)	不検出	(セシウム 134 濃度(Bq/L) ÷ 60(Bq/L)) + (セシウム 137 濃度(Bq/L) ÷ 90(Bq/L)) ≤ 1

※1 再利用水とは、施設で発生する生活排水、スラグ冷却水、床洗浄水などの排水を高度処理し再利用する水。

(4) 運搬車両の空間放射線量率 (単位 :  $\mu$ Sv/時)

月日	車両	松島町搬出時 空間放射線量率	ごみ処理施設搬入時 空間放射線量率	基準値
12月3日(月)	1台目	0.07	0.06	0.19以下
12月4日(火)	1台目	0.07	0.06~0.07	
12月5日(水)	1台目	0.05	0.06~0.07	
12月6日(木)	1台目	0.07~0.08	0.06	
12月7日(金)	1台目	0.06	0.05~0.06	
	2台目	0.05~0.06	0.05~0.06	
12月10日(月)	1台目	0.06~0.08	0.06	
12月11日(火)	1台目	0.05~0.06	0.05~0.06	
	2台目	0.05~0.06	0.06	
12月12日(水)	1台目	0.05	0.06	
12月13日(木)	1台目	0.07~0.09	0.06	
12月14日(金)	1台目	0.06~0.07	0.06	
	2台目	0.05~0.06	0.06~0.07	
12月17日(月)	1台目	0.07	0.06	
12月18日(火)	1台目	0.07~0.08	0.06	
12月19日(水)	1台目	0.04~0.05	0.06	
12月20日(木)	1台目	0.07~0.08	0.06	
12月21日(金)	1台目	0.07~0.08	0.06	
	2台目	0.07	0.06	

12月25日(火)	1台目	0.07~0.08	0.06~0.07	
12月26日(水)	1台目	0.08	0.06~0.07	
12月27日(木)	1台目	0.06~0.08	0.06	
12月28日(金)	1台目	0.05~0.06	0.06	

※松島町搬出時の測定器は、HORIBA 簡易型環境放射線モニタ PA-1000。(松島町測定)

ごみ処理施設搬入時の測定器は、日立アロカメディカル シンチレーションサーバイメータ TCS-172B。(酒田地区広域行政組合測定)

#### (5) 空間放射線量率 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	12月4日(火)	12月12日(水)	12月19日(水)	12月25日(火)	基準値
A (敷地境界)	0.06	0.06	0.06	0.05	0.19 以下
B (敷地境界)	0.06	0.06	0.05	0.06	
C (敷地境界)	0.05	0.06	0.05	0.05	
D (敷地境界)	0.06	0.05	0.05	0.05	
E (バックグラウンド <sup>※1</sup> )	0.05	0.05	0.05	0.05	

※1 バックグラウンドとは、自然放射線量を示し、敷地内で災害廃棄物の影響を受けない十分に離れた地点を測定点とする。なお、各測定地点は、別図1のとおり。

### 3. 酒田地区広域行政組合最終処分場における測定結果

#### (1) 地下水、放流水の放射性物質濃度 (単位: Bq/L)

月日	試料名	放射性セシウム 134 (検出下限値)	放射性セシウム 137 (検出下限値)	放射セシウム 合計	基準値
12月12日(水)	地下水 上流	不検出 (<0.60)	不検出 (<0.79)	不検出	$\begin{aligned} & (\text{セシウム 134 濃度 (Bq/L)} \div 60 \text{ (Bq/L)}) \\ & + (\text{セシウム 137 濃度 (Bq/L)} \div 90 \text{ (Bq/L)}) \leq 1 \end{aligned}$
	地下水 下流	不検出 (<0.84)	不検出 (<0.78)	不検出	
	放流水	不検出 (<0.87)	不検出 (<0.76)	不検出	

(2) 空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点 (高さ 1m)	12月3日(月)	12月10日(月)	12月17日(月)	12月25日(火)	基準値
A (敷地境界)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.19 以下
B (敷地境界)	0.04	0.04	0.03	0.04	
C (敷地境界)	0.05	0.04	0.03	0.05	
D (敷地境界)	0.04	0.04	0.03	0.05	
E (バックグラウンド)	0.05	0.04	0.04	0.05	

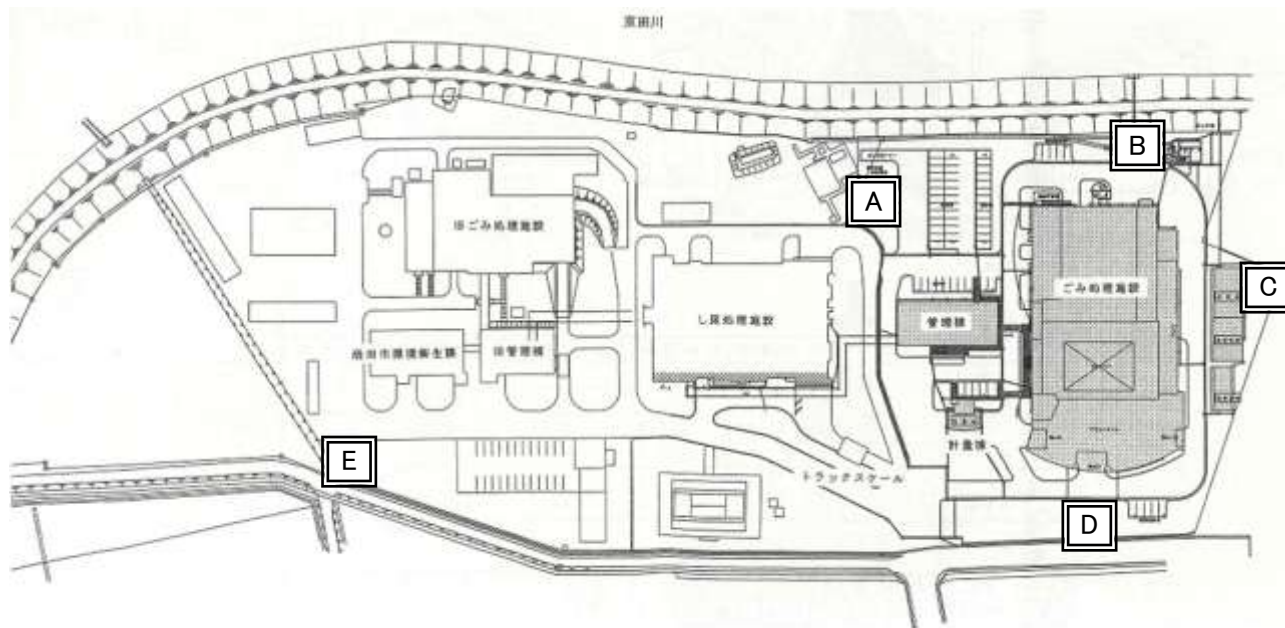
※ 各測定地点は、別図2の通り。

4. 施設周辺地域における測定結果

周辺地域における空間放射線量率 (単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

測定地点	高さ	12月12日(水)	12月28日(金)	基準値
十五軒公園	50cm	0.06	0.05	0.19 以下
	1m	0.05	0.05	
十五軒南公園	50cm	0.05	0.05	
	1m	0.05	0.05	
下中村自治会館	50cm	0.07	0.05	
	1m	0.06	0.05	
板戸農道	50cm	0.05	0.04	
	1m	0.05	0.04	
板戸公民館	50cm	0.06	0.05	
	1m	0.05	0.05	
大平公会堂	50cm	0.04	0.04	
	1m	0.04	0.04	

別図1 ごみ処理施設空間放射線量率等測定位置



敷地境界: A~D  
BG (バックグラウンド): E

## 別図2 最終処分場空間放射線量率等測定位置

最終処分場空間放射線量率測定位置及び放射性セシウム濃度測定試料採取位置

